

MD050_SPF_COS_014 帳票サーバへのOUTBOUND	説明: 帳票サーバに各種データを連携する(OUTBOUNDのみ)	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS熊本	Ver.	Issue3.0
-----------------------------------	----------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	----------

#### 処理概要

FAX/TELなどにより登録された受注データに対する納品書を作成するためのデータ作成を行う  
 納品書用データ作成(EDI以外)  
 ・納品書用データ作成(EDI以外)画面より対象となるデータを検索し、帳票サーバ向けのデータを作成する

#### システム利用者

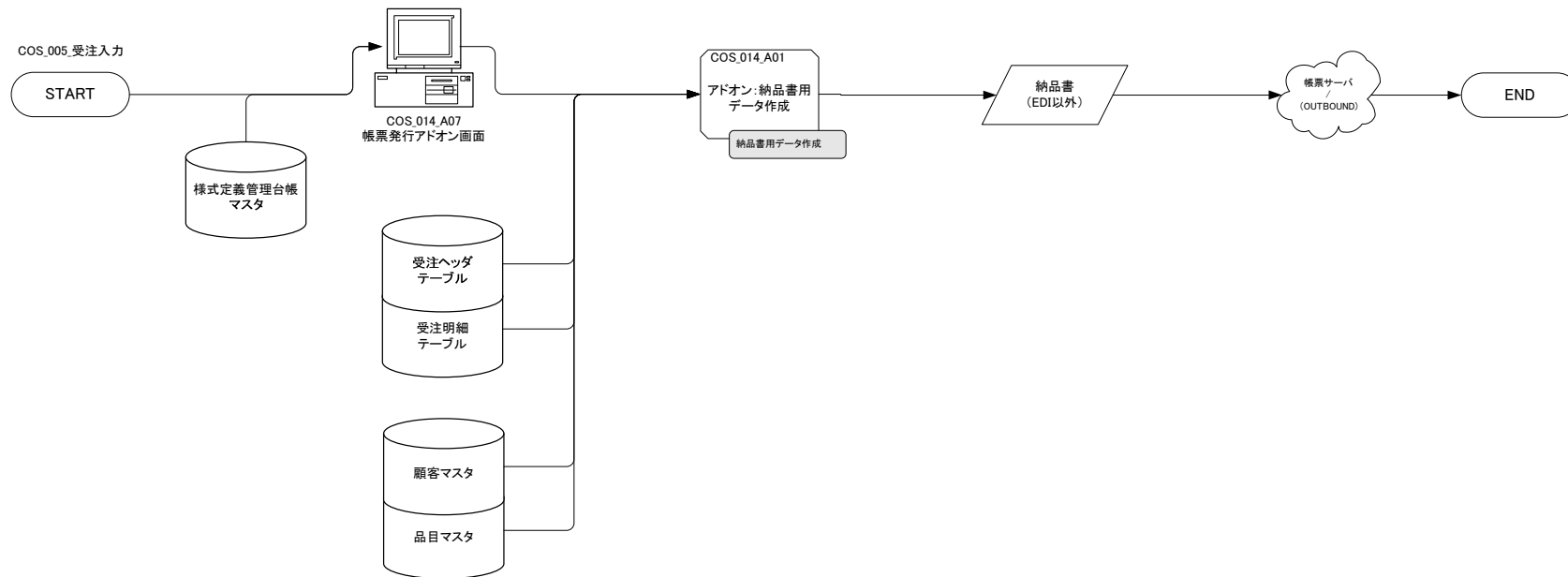
拠点 内務担当者

#### 処理タイミング、その他

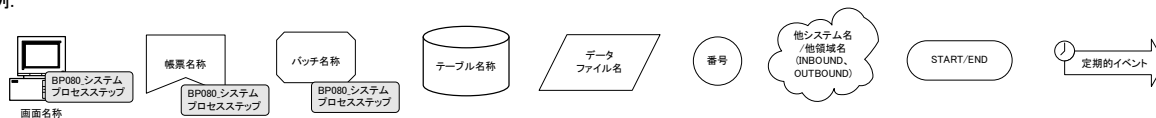
納品書用データの作成は、必要に応じて日中全都実行する  
 ・納品書は、納品時に顧客へ渡す

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_014 帳票サーバへのOUTBOUND	説明: 帳票サーバに各種データを連携する(OUTBOUNDのみ)	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS熊本	Ver.	Issue3.0
-----------------------------------	----------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	----------

#### 処理概要

EDIシステムから連携された受注データとEDI外から入力された受注データに対する納品書を出力するためのデータ作成を行う  
 納品書用データ作成(全て)  
 ・納品書用データ作成画面より対象となるデータを検索し、帳票サーバ向けのデータを作成する

#### システム利用者

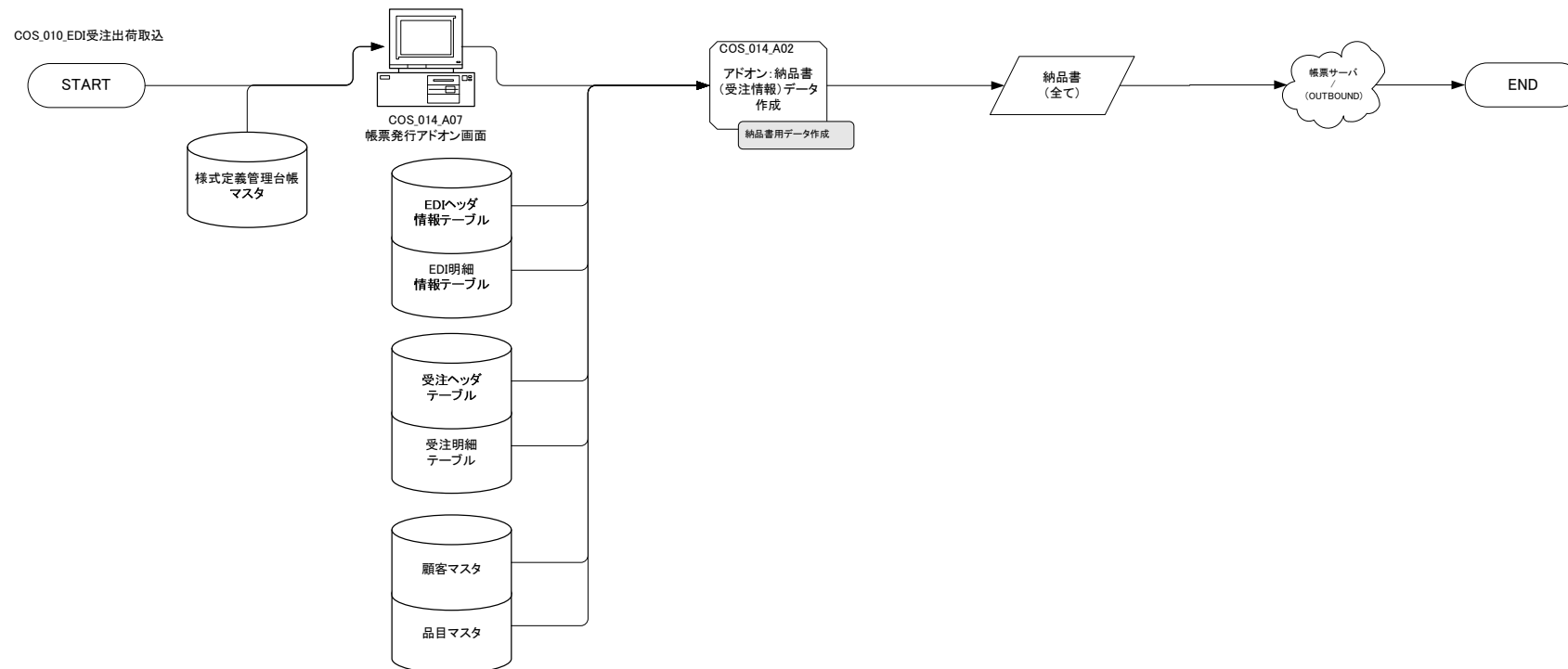
拠点 内務担当者

#### 処理タイミング、その他

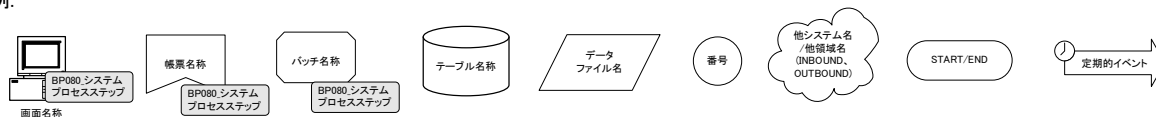
納品書用データの作成は、必要に応じて日中都在行する  
 ・納品書は、納品時に顧客へ渡す

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_014 帳票サーバへのOUTBOUND	説明: 帳票サーバに各種データを連携する(OUTBOUNDのみ)	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS熊本	Ver.	Issue3.0
-----------------------------------	----------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	----------

#### 処理概要

EDIシステムから連携された納品確定データをEDI受注情報テーブルから取得し、納品確定情報を出力するためのデータ作成を行う

#### システム利用者

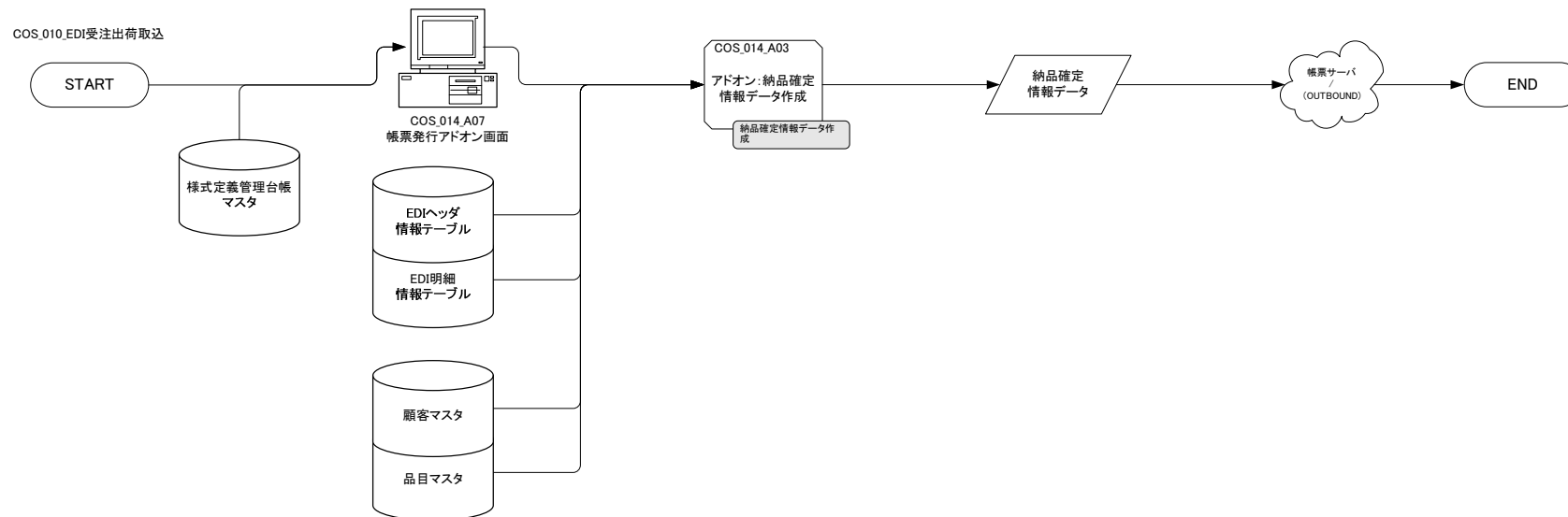
拠点 内務担当者

#### 処理タイミング、その他

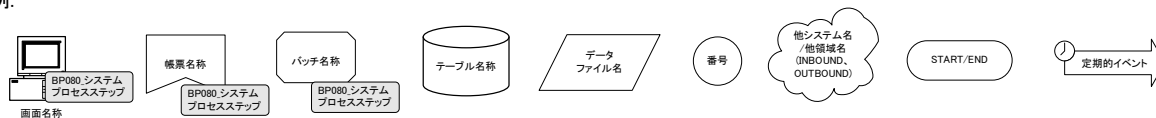
納品確定情報データの作成は、必要に応じて日中都度実行する

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_014 帳票サーバへのOUTBOUND	説明: 帳票サーバに各種データを連携する(OUTBOUNDのみ)	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS熊本	Ver.	Issue3.0
-----------------------------------	----------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	----------

#### 処理概要

EDIシステムから連携された返品確定情報をEDI受注情報テーブルから取得し、  
帳票出力するためのデータ作成を行う  
返品確定情報データの作成  
・返品確定情報データ作成より帳票サーバ向けの返品確定情報データを作成する  
対象となるデータの絞り込みは、パラメータで指定する

#### システム利用者

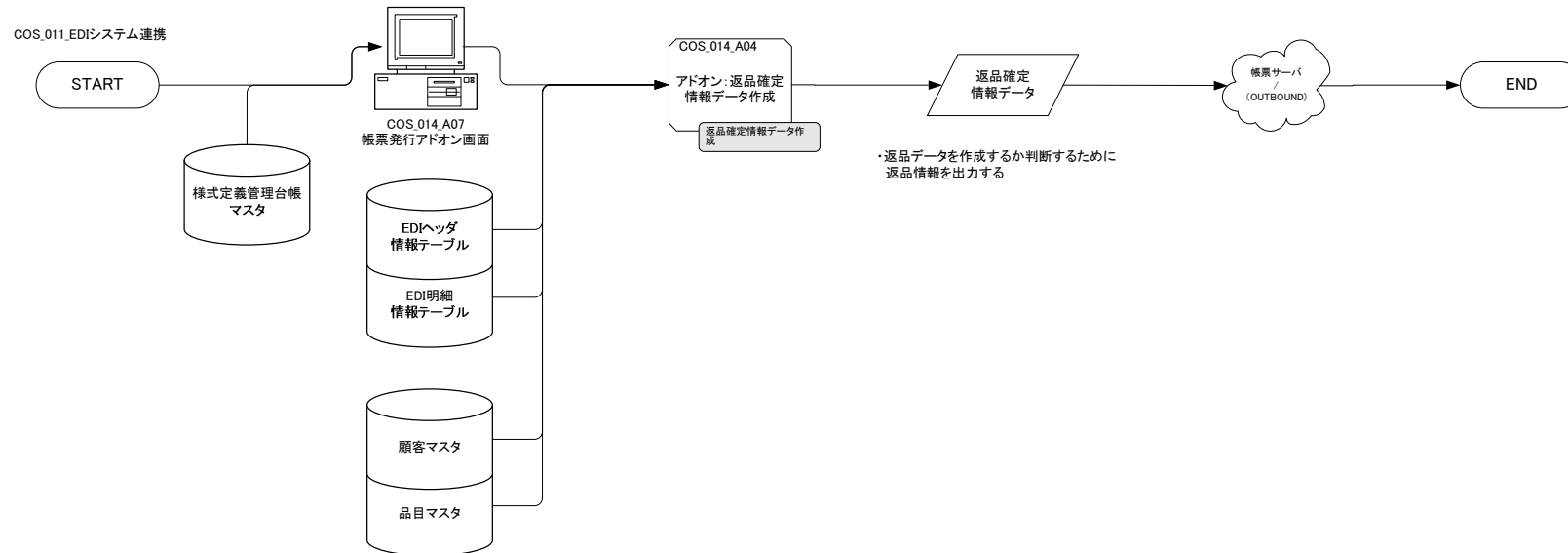
拠点 内務担当者

#### 処理タイミング、その他

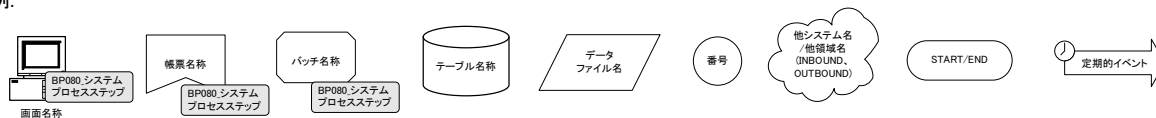
返品確定情報データの作成は、必要に応じて日中都度実行する

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_014 帳票サーバへのOUTBOUND	説明: 帳票サーバに各種データを連携する(OUTBOUNDのみ)	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS熊本	Ver.	Issue3.0
-----------------------------------	----------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	----------

#### 処理概要

EDIシステムから連携された在庫情報を帳票出力するためのデータ作成を行う  
在庫情報データの作成

- 在庫情報データ作成画面より帳票サーバ向けの在庫情報データを作成する  
対象となるデータの絞り込みは、パラメータで指定する

#### システム利用者

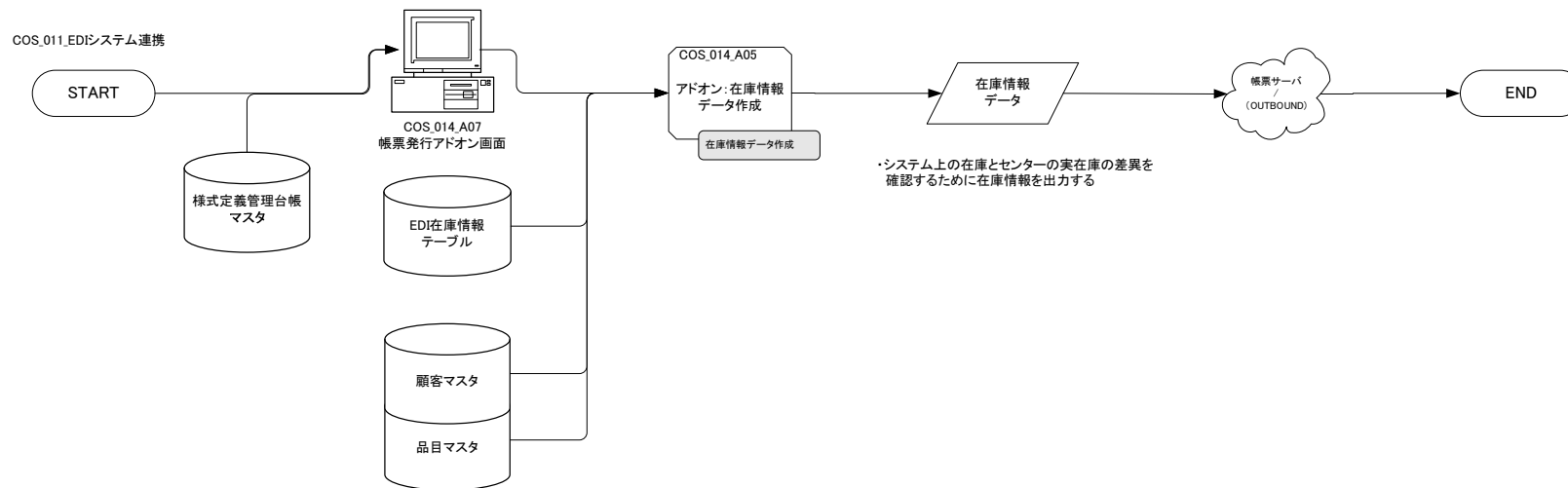
拠点 内務担当者

#### 処理タイミング、その他

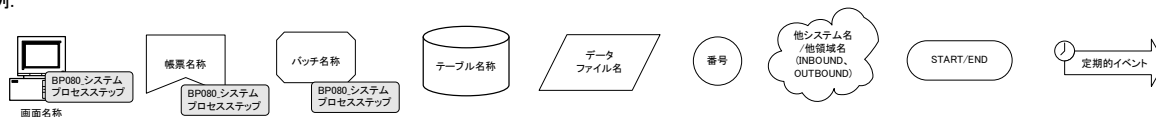
在庫情報データの作成は、必要に応じて日中都度実行する

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_014 帳票サーバへのOUTBOUND	説明: 帳票サーバに各種データを連携する(OUTBOUNDのみ)	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS熊本	Ver.	Issue3.0
-----------------------------------	----------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	----------

#### 処理概要

納品予定ブルーリストを出力するためのデータ作成を行う

#### システム利用者

拠点\_内務担当者

#### 処理タイミング、その他

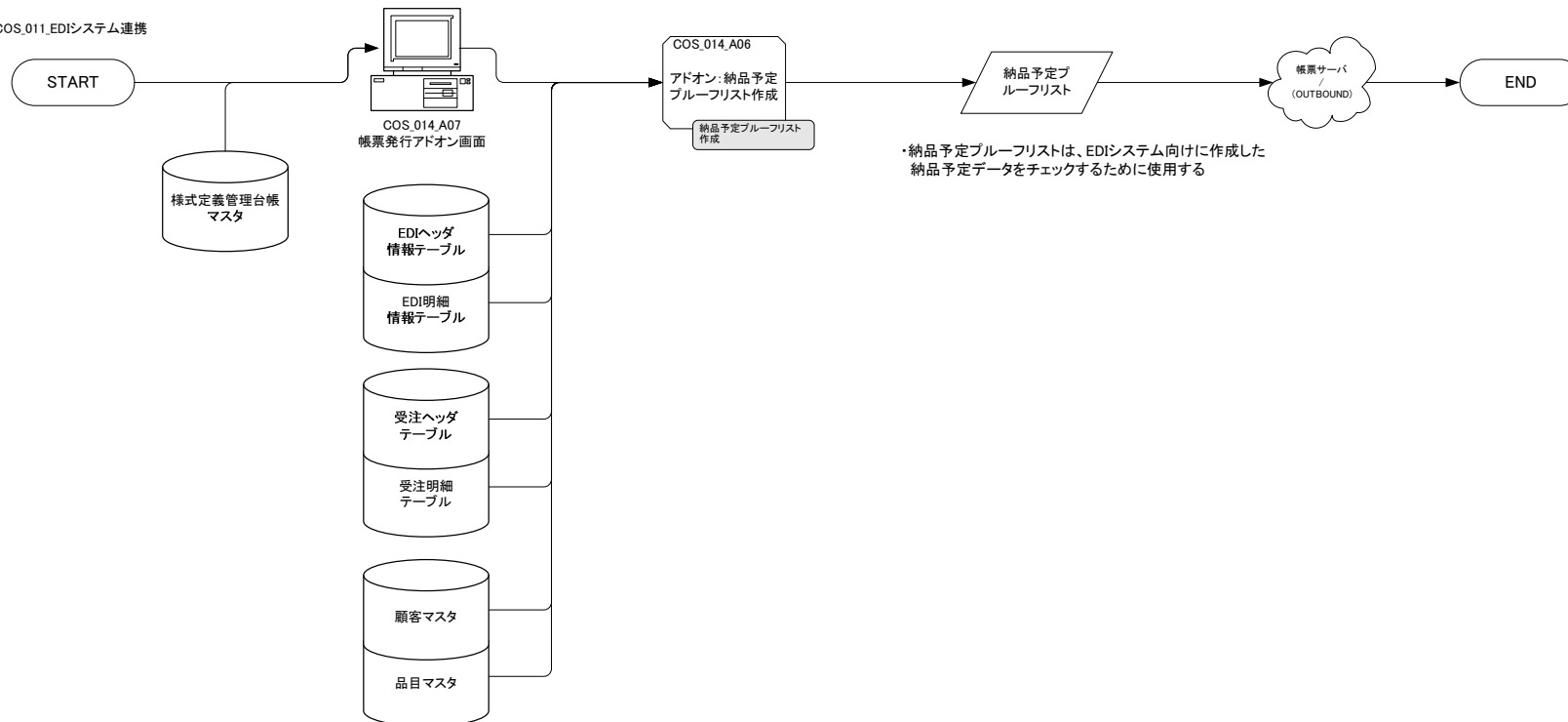
納品予定ブルーリストの作成は、必要に応じて日中複数実行する

- ・納品予定ブルーリストは、作成したEDI納品予定データとチェックする

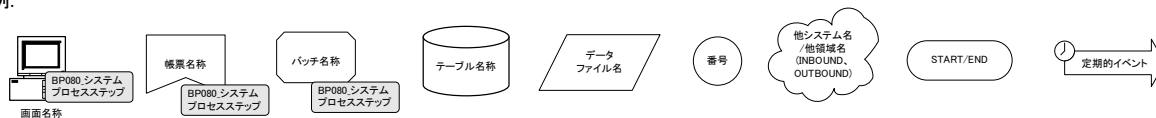
#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること

COS.011 EDIシステム連携



凡例:



MD050_SPF_COS_014 帳票サーバへのOUTBOUND	説明: 帳票サーバに各種データを連携する(OUTBOUNDのみ)	作成日	2008/08/06	作成者	SCS熊本	更新日	2009/03/13	更新者	SCS熊本	Ver.	Issue3.0
-----------------------------------	----------------------------------	-----	------------	-----	-------	-----	------------	-----	-------	------	----------

#### 処理概要

ファイルアップロードIFに登録された様式定義管理台帳データを様式定義管理台帳マスタに登録する。

#### システム利用者

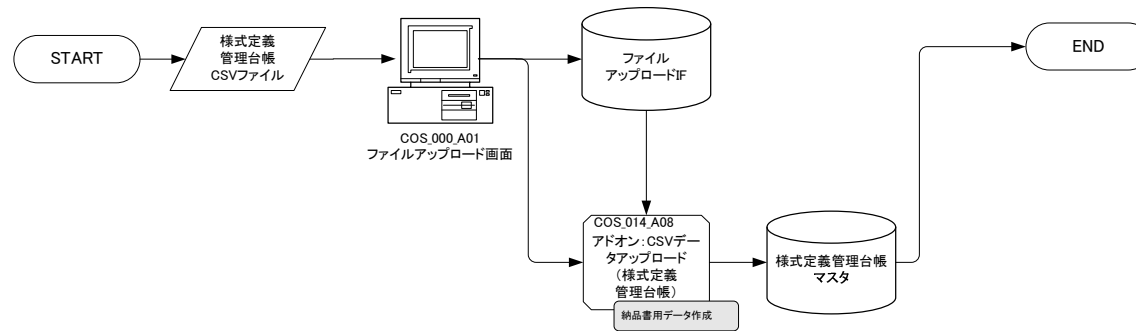
拠点\_内務担当者

#### 処理タイミング、その他

必要に応じて日中都度実行する

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

